

「足関節骨折術後患者におけるアキレス腱およびヒラメ筋の硬さと歩行速度との関係」

当院では以下の臨床研究を行なっております。

【研究課題】

足関節骨折術後患者におけるアキレス腱およびヒラメ筋の硬さと歩行速度との関係

【研究の背景と目的】

足関節骨折後は足関節の運動範囲が狭くなり、歩行速度が低下することがあります。足関節の運動範囲を狭くする原因には、アキレス腱やヒラメ筋が関わっています。アキレス腱やヒラメ筋が硬くなると、歩行速度が低下する可能性があります。因果関係は明らかになっていません。

本研究の目的は、アキレス腱およびヒラメ筋の硬さと歩行速度との関係を明らかにし、リハビリテーションに役立てることです。

【研究の期間】

2023年3月1日～2028年3月1日

【研究対象】

- ・足関節骨折術後に当院の外来リハビリテーションに通われている方
- ・全荷重が許可された術後3ヶ月と5ヶ月の方

【研究の方法】

当院のリハビリテーションでは、術後3ヶ月、5ヶ月に機能測定を行っています。本研究では、その測定結果を部分的に2次利用し、研究を行います。

【利用する情報】

- ・基本情報（年齢、性別、身長、体重、BMI、利き脚）
- ・医学的情報（診断名、既往歴、手術記録、治療経過）
- ・アキレス腱およびヒラメ筋の硬さ
- ・足関節可動域
- ・足関節筋力
- ・歩行時の痛み
- ・歩行パラメーター（歩行時の足関節角度、歩幅、歩行速度、歩行率、床反力）

【予想される利益・不利益】

利益：アキレス腱やヒラメ筋が硬いほど、歩行速度が低下することが明らかになります。

これが明らかになれば、アキレス腱やヒラメ筋の硬さを改善することで、歩行速度が改善する可能性があります。

不利益：筋力測定にともなう筋肉痛が生じる可能性があります。

歩行パラメーター測定時に転倒の可能性があります。

これらは理学療法士が付き添うことで、予防します。

【個人情報の取り扱いについて】

本研究の成果を、学術目的のため学会や論文で公表する際には、個人情報を厳重に守り、個人が特定されない形で使用します。

【研究協力の自由について】

研究への協力は自由意志であり、拒否された場合でも不利益はありません。協力を希望されない場合は、お手数をおかけしますが、ご連絡をお願い致します。

【利益相反について】

本研究に開示すべき利益相反はありません。

【研究責任者連絡先】

総合病院土浦協同病院

リハビリテーション部 宮阪隼人

電話 029-830-3711 (代表)